



まちかどピックス特別編

開成町 阿波おどり

9月14日(土)、約1,000人の踊り手たちが一斉に練り歩くオープニングパレードを皮切りに始まった「第32回開成町阿波おどり」。東日本で一番小さな町が一年で一番熱くなる夜が、今年もやってきました。

今年は、自治会や事業所ごとに一致団結した町内連をはじめ、高円寺や大和など町外連を合わせた全24連が参加し、華やかな踊りと鳴り物で観客を魅了しました。

飛び入り参加大歓迎のにもかかわらず演舞場や最後の総おどりで、踊り手と観客が一緒になって踊り、阿波おどりを介して心を通わせました。人々の笑顔が輝いた熱い夜となりました。

